

## 令和 7 年第 3 回千葉市議会定例会会議録（第 2 号）

令 和 7 年 9 月 9 日（火）午 後 1 時 開 議

---

### ○議事日程

- 日程第 1 会議録署名人選任の件
- 日程第 2 議案第 103号 令和 7 年度千葉市一般会計補正予算（第 2 号）  
議案第 104号 令和 7 年度千葉市介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）  
議案第 105号 令和 7 年度千葉市動物公園事業特別会計補正予算（第 1 号）  
議案第 106号 令和 7 年度千葉市学校給食事業特別会計補正予算（第 1 号）  
議案第 107号 令和 7 年度千葉市病院事業会計補正予算（第 1 号）  
議案第 108号 令和 7 年度千葉市下水道事業会計補正予算（第 1 号）  
議案第 109号 令和 7 年度千葉市水道事業会計補正予算（第 1 号）  
議案第 110号 千葉市職員の特殊勤務手当支給条例の一部改正について  
議案第 111号 千葉市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について  
議案第 112号 千葉市職員の育児休業等に関する条例等の一部改正について  
議案第 113号 千葉市収入証紙条例の廃止について  
議案第 114号 千葉市情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例の一部改正について  
議案第 115号 千葉市環境関係手数料条例の一部改正について  
議案第 116号 千葉市斎場設置管理条例の一部改正について  
議案第 117号 千葉市廃棄物の適正処理及び再利用等に関する条例の一部改正について  
議案第 118号 千葉市立小学校設置条例の一部改正について  
議案第 119号 千葉マリンスタジアム設置管理条例の一部改正について  
議案第 120号 千葉市自転車等の放置防止に関する条例の一部改正について  
議案第 121号 千葉市下水道条例の一部改正について  
議案第 122号 財産の取得について（消防救急デジタル無線機）  
議案第 123号 工事請負契約について（千葉市花見川消防署畠出張所改築工事）  
議案第 124号 工事請負契約について（（主）生実本納線（赤井町地区）函渠整備工事（7-2））  
議案第 125号 指定管理者の指定について（千葉アイススケート場）  
議案第 126号 議決事件の一部変更について（千葉市新清掃工場建設工事に係る工事請負契約）  
議案第 127号 市道路線の認定について  
発議第 7 号 千葉市カスタマーハラスメント防止条例の制定について
- 

### ○出席議員

**暫定版** ※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和7年第3回定例会会議録第2号（9月9日）

1番	石川	美香	君	2番	吉川	英雄	二亮	君
3番	茂呂	一弘	君	4番	田嶋	純友	子介	君
5番	須藤	博文	君	6番	岡島	真友	弘介	君
7番	黒澤	和泉	君	8番	平島	大秀	夫弘	君
9番	山崎	眞彦	君	10番	大桜	伊川	秀隆	君
11番	渡邊	惟大	君	12番	井伊	石川	弘広	君
13番	青山	雅紀	君	14番	守三	井川	和美	君
15番	前田	健一郎	君	16番	伊石	井喰	香初	君
17番	小坂	さとみ	君	18番	安守	三井	美聰	君
19番	渡辺	忍平	君	20番	伊藤	喰屋	康美	君
21番	樺澤	洋平	君	22番	松岩	坂井	聰平	君
23番	蛭田	浩文	君	24番	岩	坂井	吉則	君
25番	阿部	智毅	君	26番	松	吉雅	夫子	君
27番	植草	毅	君	28番	田	直雄	樹友	君
29番	亀井	琢磨	君	30番	麻生	木生	崇二	君
31番	川合	隆彦	君	32番	佐々	木佐	伸	君
33番	段木	和彦	君	34番	櫻酒	井井	保	君
35番	盛田	眞弓	君	36番	向	向後	賢茂	君
37番	森山	和博	君	38番	中島	島中	治隆	君
39番	小松崎	文嘉	君	40番	石井	井石	毅枝	君
41番	宇留間	又衛門	君	42番	橋	橋石	輝正	君
43番	三須	和夫	君	44番	三	瓶本	信君	君
45番	米持	克彦	君	46番	野			
47番	白鳥	誠	君	48番				
49番	中村	江公	君	50番				

○説明員

市長	神谷俊一	君	副市長	大木正人	君
副市長	橋本直明	君	総合政策局長	大藤真史	君
総務局长	久我千晶	君	財政局长	瀬勝光一郎	君
市民局长	那須一恵	君	環境局长	秋瀬浩一	君
経済農政局长	安部浩成	君	都市局長	鹿子木明靖	君
建設局长	山口浩正	君	市長公室長	崎哲	君
総務部長	中尾嘉之	君	教育長	岡克彦	君
教育次長	中島千恵	君	代表監査委員	倉輝雄	君

○議会事務局

事務局长	香取徹哉	君	次長	寺崎勝宣	君
議事課長	安西雅樹	君	議事課長補佐	佐藤大介	君
議事班主査	石黒薰子	君			

○本日の会議に付した事件

日程第1 会議録署名人選任の件

日程第2 議案自第103号至第127号、発議第7号質疑、委員会付託

**午 後 1 時 0 分 開 議**

○議長（松坂吉則君） これより会議を開きます。

出席議員は50名、会議は成立いたしております。

日程第1 会議録署名人選任の件

○議長（松坂吉則君） 日程第1、会議録署名人選任の件を議題といたします。

私より指名いたします。24番・伊藤康平議員、25番・阿部智議員の両議員にお願いいたします。

日程第2 議案自第103号至第127号、発議第7号質疑、委員会付託

○議長（松坂吉則君） 日程第2、議案第103号から第127号まで及び発議第7号を議題といたします。

質疑の通告がまいったっておりますので、お願いいたします。20番・安喰初美議員。

[20番・安喰初美君 登壇、拍手]

○20番（安喰初美君） 日本共産党千葉市議会議員団の安喰初美です。会派を代表して議案質疑を行います。

初めに、議案第103号・令和7年度千葉市一般会計補正予算（第2号）、総合政策局所管、千葉マリンスタジアム基本計画策定についてです。

新スタジアムの基本計画策定のための所要の経費、2億6,800万円を補正予算として計上し、期間が令和8年度までとなることから債務負担行為を設定するものです。

民間の事業協力者を募集するということでサウンディング型市場調査や事業者説明会が開催されたとのことです。参加した事業者はどのくらいあり、どんな意見があったのかお聞かせください。

以降、質問席にて行います。（拍手）

○議長（松坂吉則君） 総合政策局長。

○総合政策局長（藤代真史君） 本年6月9日からサウンディング型市場調査への参加者を公募いたしましたところ、42者から応募があり、説明会には38者に御参加いただきました。

参加者の皆様方には、スタジアムの整備・運営、概算事業費、事業スキーム、事業の進め方、まちづくりの視点、事業協力者の公募の6項目につきまして、アンケート形式などにより御意見を伺っております。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 新スタジアムについての一番の関心事は屋外型なのか、ドーム型なのかということではないでしょうか。幕張の海・風・空が感じられるとして屋外型を選択したにも関わらず、民間投資によるドーム化を排除したものではないと基本構想で説明しています。どちらにするのかはつきり示すべきではありませんか。

○議長（松坂吉則君） 総合政策局長。

**暫定版** ※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和7年第3回定例会会議録第2号（9月9日）

○総合政策局長（藤代真史君） スタジアム整備に当たりましては、市税を充当できる範囲は公共施設として市民利用が可能な部分に限られ、それを超える部分につきましては、民間投資により整備することになります。

この考え方のもとに、基本構想では、民間投資によるドーム化の可能性は排除しないものの、スタジアム経営の持続性の観点などから屋外型スタジアムとしての整備を前提といたしております。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 次に、市民局所管、市民会館基本計画修正については、JR千葉支社跡地において市民会館を単独棟で整備することに伴い、令和3年度に作成した千葉市民会館再整備における基本計画を修正するにかかる補正予算と債務負担行為を設定するものです。

東日本旅客鉄道株式会社と協議したことですが、面積のことなど、どこまで協議したのかお示しください。

○議長（松坂吉則君） 市民局長。

○市民局長（那須一恵君） 市民会館への建設予定地の位置や面積、周辺道路の整備などにつきまして協議を進めているところでございます。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 市民会館は市民が文化芸術を楽しむ施設であり、基本計画修正に当たって市民の意見を十分吸い上げていくことが求められていると思います。利用者等へのアンケート等による意見聴取をすることですが、どのような方々にどのような方法で意見を伺っていくのかお示しください。

○議長（松坂吉則君） 市民局長。

○市民局長（那須一恵君） 千葉駅前での整備となり利便性がより向上します点を踏まえ、現在、市民会館を利用されていない市民の皆様も含めまして、アンケートや意見交換により広く意見を聴取してまいりたいと考えております。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 修正の中身について複合施設から単独の施設になることや場所の変更など大きく変わることがありますが、その他修正前の基本計画から変更しようとしているのはどのような点なのかお聞かせください。

○議長（松坂吉則君） 市民局長。

○市民局長（那須一恵君） 基本計画の修正に当たりましては、基本コンセプトなど施設整備の基本的な考え方を継承しつつ、複合棟から単独棟での整備となったことに伴う、諸室構成、整備手法、運営方法、今後のスケジュールなどにつきまして必要な修正を検討してまいります。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 市民会館の再整備に当たって搬入のための大型車両の通行が予想されます、道路の拡幅など形状を変えることは検討されているのか伺います。

○議長（松坂吉則君） 市民局長。

○市民局長（那須一恵君） 荷物搬入のための大型車両の動線が適切に確保できるよう、検討を進めてまいります。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 次に、特定在留カード創設に伴う経費についてです。

市町村において、在留カード等のICチップに住居地等の記録業務が追加されることから、業務に必要となる住居地等記録端末を調達するものです。

特定在留カードが創設されることですが、現在ある在留カードとの違いについて、また、マイナンバーカードの取得は必須になるのか伺います。

○議長（松坂吉則君） 市民局長。

○市民局長（那須一恵君） 特定在留カードは、在留カードにマイナンバーカードとしての機能を付加するための措置が講じられたものとなります。

また、その取得は任意となっております。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 今あるカードのICチップに入っている情報及び市町村で新たに記録される情報について伺います。

○議長（松坂吉則君） 市民局長。

○市民局長（那須一恵君） 現行の在留カードのICチップには、氏名や生年月日などの個人情報のほか、在留資格に関する情報、顔写真の情報などが記録されております。

市町村において記録する情報は、住居地のほか、市町村において特定在留カード等を交付する場合には、交付日を記録いたします。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） ICチップに市町村で情報の書き込みを行うタイミングはいつになるのか、在留カード保持者全員に必要なものなのか伺います。

○議長（松坂吉則君） 市民局長。

○市民局長（那須一恵君） ICチップに住居地等を記録するのは、住居地の届出等があった際となり、在留カード保持者が届出等を行った場合に対象となります。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） ICチップに情報を書き込むため各区役所・市民センターに24台の専用端末を設置することですが、それに伴う人員配置はどのようになるのですか。

○議長（松坂吉則君） 市民局長。

○市民局長（那須一恵君） 今後、国から示される具体的な事務の内容を踏まえまして、適切に対応してまいります。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 次に、議案第103号・令和7年度千葉市一般会計補正予算（第2号）、議案第105号・令和7年度千葉市動物公園事業特別会計補正予算（第1号）、議案第107号・令和7年度千葉市病院事業会計補正予算（第1号）、議案第109号・令和7年度千葉市水道事業会計補正予算（第1号）は、市有施設の電力調達についてであり、関連がありますので一括して質問を行います。

市有施設の電力調達については、令和8年度に市有施設で使用する電力の一部について、自己託送や再エネ電力により調達するため、令和8年度に使用する電力の小売電気事業者を決定する必要があることから、債務負担公費を設定するものです。

自己託送とはどのようなものなのかお聞かせください。

○議長（松坂吉則君） 環境局長。

○環境局長（秋幡浩明君） 自己託送は、一般送電網を使用して、自身が保有する発電所から

**暫定版** ※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和7年第3回定例会会議録第2号（9月9日）

別の場所の需要施設に電力を送電するものとなります。本市の場合は、清掃工場で発電した電力を市有施設に送る取組となります。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 電力コストは現在と比較して5億円の削減となると試算されていますが、自己託送の維持管理にはいくらかかかるのかお示しください。

○議長（松坂吉則君） 環境局長。

○環境局長（秋幡浩明君） 自己託送に必要となるエリア・エネルギー・マネジメント・システムの維持管理費として年間約1億円を想定しております。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 可燃ごみの焼却量が少なくなった場合、発電量も少なくなると考えられますが、市有施設への供給に問題はないのか伺います。

○議長（松坂吉則君） 環境局長。

○環境局長（秋幡浩明君） 清掃工場における発電量が減少した場合は、小売電気事業者から再エネ電力が供給されることとなるため、市有施設の電力が不足することはございません。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 清掃工場から排出するCO<sub>2</sub>は自己託送によって変わるので、また、市有施設の使用電力について、太陽光発電や自己託送、再エネ電力を導入することで現在と比較してどのくらいCO<sub>2</sub>が削減されるのかお示しください。

○議長（松坂吉則君） 環境局長。

○環境局長（秋幡浩明君） 本市における自己託送は、これまで外部に売電していた電力を市有施設で使用する取組であり、清掃工場のCO<sub>2</sub>排出量自体が変わるものではありません。

市有施設等における太陽光発電や、清掃工場の余剰電力を活用する自己託送、再エネ電力の調達により、市有施設の電力消費に伴うCO<sub>2</sub>排出実質ゼロを目指しており、約5万トンのCO<sub>2</sub>削減効果を見込んでおります。

なお、この削減効果は、清掃工場の売電等によるCO<sub>2</sub>排出削減効果の約1万トンを除いたものとなります。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 気候危機の要因であるCO<sub>2</sub>の削減は喫緊の課題です。市内のCO<sub>2</sub>排出量が多い企業への指導を強化すべきではありませんか。

○議長（松坂吉則君） 環境局長。

○環境局長（秋幡浩明君） 温室効果ガス排出量の多い市内事業者各社は、2050年のカーボンニュートラルの達成を目指したロードマップを作成し、計画的に取り組んでいるところであります。動向を注視してまいります。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 次に、議案第103号・環境局所管プラスチック分別収集・再資源化及び議案第117号・千葉市廃棄物の適正処理及び再利用に関する条例の一部改正については関連があるので、一括して質問します。

議案第103号は、家庭から排出されるプラスチック資源の分別収集・再資源化の実施に要する経費を補正するとともに、分別収集開始までに収集運搬事業者及び再商品化事業者と業務委託契約を締結するための債務負担行為を設定するものです。

また、議案第117号は、プラスチック資源を排出するための指定袋の種類と金額を条例に追加するものです。

家庭系プラスチック分別収集・再資源化をどのような考え方で進めようとしているのかお示しください。

○議長（松坂吉則君） 環境局長。

○環境局長（秋幡浩明君） 地球温暖化対策や海洋プラスチック対策に加え、プラスチック原料の供給を資源循環により確保することが求められている中、循環型社会・脱炭素社会の実現に向けて、これまでの清掃工場での焼却処理から、材料リサイクル・ケミカルリサイクルに転換し、再商品化を積極的に推進するため、本事業を実施するものです。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 千葉市はプラスチック分別収集・再資源化に取り組んでいない政令市3市のうちの一つですが、プラスチック分別収集・再資源化を始めるに当たって、先行自治体の事業のメリット、デメリットを聞いてより良いものにしようとしたのか伺います。

○議長（松坂吉則君） 環境局長。

○環境局長（秋幡浩明君） 本市における実施策を検討するに当たり、近年、プラスチック分別収集を開始した政令指定都市や再商品化計画の認定を受けた京都府亀岡市、富山県高岡市の事例調査を行い、収集するプラスチック資源の品質確保や中間処理の効率化が図れるような手法に役立てております。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 家庭系プラスチック分別収集・再資源化を進めるとともに、プラスチック製品そのものを削減する取組をすることが必要だと思いますが、国に対して生産者責任を果たせるよう要望すべきではありませんか。

○議長（松坂吉則君） 環境局長。

○環境局長（秋幡浩明君） 国の施策及び予算に対する重点要望において、拡大生産者責任の考え方に基づき、自治体と事業者の役割分担及び経費負担について見直すなど、プラスチックリサイクル制度を再構築することを求め、本年7月に国に対して要望書を提出しました。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 市条例で手数料を定めるプラスチック資源専用の新指定袋は2種類で、30リットルが1枚24円、15リットルが1枚12円とすると提案されています。このサイズと値段にする根拠についてお聞かせください。

○議長（松坂吉則君） 環境局長。

○環境局長（秋幡浩明君） 指定袋については、昨年度実施したモデル事業でいただいた袋の容量についての御意見や、環境省令により定められている分別収集物の大きさの上限などを参考にして、大きいサイズを30リットル、小さいサイズを半分の15リットルとしました。

袋の価格につきましては、可燃ごみや不燃ごみより安価にした場合、プラスチックごみの排出抑制の動機づけが弱まることや、逆に高価にした場合、プラスチックが可燃ごみや不燃ごみとして不適正排出されることが懸念されることから、可燃ごみ、不燃ごみと同様に、1リットルあたり0.8円に設定しました。

なお、市民の皆様の御負担はこれまでと変わりません。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

**暫定版** ※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和7年第3回定例会会議録第2号（9月9日）

○20番（安喰初美君） 事業開始時期は令和9年12月となっていますが、あと2年で外国人を含め、市民全体に分別について周知徹底をするのは難しいのではないかと思います。

市民がプラスチック資源分別について理解し、適正に排出するための周知方法についてお聞かせください。

○議長（松坂吉則君） 環境局長。

○環境局長（秋幡浩明君） 住民説明会の開催、市政だより、市ホームページへの掲載、動画配信のほか、ごみステーション看板の掲示、ガイドブックの全戸配布、さらには、環境イベントでのリーフレット配布など、様々な広報手段を通じて、きめ細やかな周知に努めてまいります。

また、外国人に対しても多言語や視覚的に伝わる手段を用いるなど、周知方法を工夫してまいります。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 次に、議案第103号・令和7年度千葉市一般会計補正予算（第2号）、経済農政局所管、中小企業者採用活動支援については、物価高騰が続く中、中小企業者が行う従業員の採用活動に要する経費の一部を助成するとともに、雇用確保の手法に関する企業向けセミナーを実施するものです。

この議案では職員の採用活動の際、人材紹介会社を利用した成功報酬型の人材採用に関わる経費の2分の1、上限50万円が助成されます。この事業を行うことで、どのくらいの雇用確保を見込んでいるのですか。

○議長（松坂吉則君） 経済農政局長。

○経済農政局長（安部浩成君） この成功報酬型の人材採用助成では、正規従業員の採用のほか、アルバイトやスポットワークによる採用なども対象となります。

このため、仲介手数料については、1人の採用で100万円を超える場合がある一方、数千円となるケースもあるなど、雇用条件により対象経費額に幅があるものと見込んでおります。

予算上では、上限額を50万円として20の事業者を支援することとしておりますが、予算の範囲内で多くの事業者に御利用いただきたいと考えております。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 職員不足で困っている介護や保育の現場では人材紹介会社を利用して人材を確保する努力がされていますが、高い費用を支払って人を紹介してもらっても定着しない事例も多く、支払い損になるため、人材紹介会社の活用に踏み切れないとの声を聞いております。介護や保育の職場でも事業効果が期待できるでしょうか。

○議長（松坂吉則君） 経済農政局長。

○経済農政局長（安部浩成君） 本事業は、人手不足の課題を抱える企業などにおける採用活動を支援するため、採用に要する経費の一部を助成するものとなっており、業種を問わず御利用いただければと考えております。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 次に、企業立地促進融資預託金及び利子補給金についてです。

企業立地促進融資制度において、当初予算の想定31億円を超えた51億円の利用申し込みにより、同制度の運用に必要な金融機関への預託金及び利子補給金に不足が見込まれることから、5億2,200万円を補正予算化するものです。

企業立地促進融資制度の概要についてお示しください。

○議長（松坂吉則君） 経済農政局長。

○経済農政局長（安部浩成君） 企業立地促進融資制度は、本市への立地や設備投資を促すため、資本金10億円以下の企業に対し、企業立地促進事業補助金の交付対象となった施設の整備に必要な資金を長期・低利・固定金利での調達手段で提供するとともに、年1.1%までの利子補給を当初5年間実施するものです。

また、融資を行った金融機関に対し、融資資金の原資として、融資額の4分の1を預託するものです。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 中小企業を支援する同じような制度はありますか。

○議長（松坂吉則君） 経済農政局長。

○経済農政局長（安部浩成君） 中小企業資金融資制度として、金融機関に対し融資額のおおむね4分の1を預託することで、市内中小企業者の経営基盤の確立、生産性向上、資金繰り安定のため、長期・低利・固定金利での調達手段を提供するとともに、制度利用者に対して、一部メニューを除き、年0.5%から2.0%の利子補給を実施しております。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 中小企業をもっと支援する制度が必要ではありませんか。

○議長（松坂吉則君） 経済農政局長。

○経済農政局長（安部浩成君） 企業立地促進融資制度を利用した企業は、その9割以上が中小企業であり、市内企業を含めた中小企業の事業拡大を支援できているものと考えております。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 次に、千葉市産業用地整備支援事業建設負担金についてです。

産業用地支援事業ネクストコア千葉生実について、賃金水準及び物価水準の上昇を踏まえ、公共基準に基づく積算額から物価上昇率を13.1%と算定し、建設負担金を増額することにしたため、債務負担行為を再設定するものです。

建設負担金は産業用地整備支援事業に要する経費のうち、市に帰属するインフラに係る整備について、民間事業者へ市が負担金を交付するとしていますが、対象となる工事について具体的にお示しください。

○議長（松坂吉則君） 経済農政局長。

○経済農政局長（安部浩成君） 主に開発区域周辺から区域内に至るまでのインフラ整備であり、具体的には、主要地方道生実本納線から開発区域に入るための右折レーン設置に係る道路拡幅工事、区域外から区域内までの汚水管整備工事、区域外への雨水放流管の整備を含む調整池整備工事となっております。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 多くの事業者が物価高騰で資材費や労賃が上がって困っている状況があります。産業用地を開発している1企業だけ優遇しているのは不公平ではありませんか。

○議長（松坂吉則君） 経済農政局長。

○経済農政局長（安部浩成君） 債務負担行為の再設定は、賃金水準及び物価水準が上昇していることを踏まえ行うものです。これは、中央建設業審議会が定める公共工事標準請負契約約款におけるスライド条項に準じて実施するものであり、建設工事などの請負契約において、一

**暫定版** ※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和7年第3回定例会会議録第2号（9月9日）

一般的に行われているものと同じ考え方で実施するものです。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 次に都市局所管、バス路線の維持確保施策検討についてです。

運転手不足等によるバス路線の減便等続いている、バス路線の維持、確保のため、シミュレーションモデルを作成し、データに基づく施策検討を行っていくものです。

シミュレーションモデル作成の際、バス路線等バスの運行に関する様々なデータだけでなく、市が保有するデータも利用して作成をするようですが、例えば市のどのようなデータを使っていくのかをお示しください。

○議長（松坂吉則君） 都市局長。

○都市局長（鹿子木靖君） 本市の町丁目ごとの将来人口や人口密度の予測、公共施設や商業施設、病院等の生活関連施設の立地状況などのデータを活用することを想定しております。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） シミュレーションモデルの作成、施策検討の際、バス事業者の意向や利用者の声などはどのように反映されるのでしょうか。

○議長（松坂吉則君） 都市局長。

○都市局長（鹿子木靖君） バス事業者と連携して、バス路線を維持するための課題などを整理し、路線維持のあり方などを検討するためのワーキンググループを本年5月に設置しており、効率的な経路や運行頻度などのシミュレーションも活用しながら、持続的なバス路線ネットワークの形成に向け検討を進めることとしております。

また、路線バスに関して、市民の方々からいただいた御意見や市民アンケートの結果を参考とするほか、地域公共交通活性化協議会において、市民の代表や事業者など多様な関係者の御意見を伺うこととしております。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） バス路線の維持、確保には運転手不足の解消だけでなく、バスの利用者を増やしていくことが必要だと考えますが、この事業を通して利用者を増やす施策が検討されていくのか伺います。

○議長（松坂吉則君） 都市局長。

○都市局長（鹿子木靖君） バス路線の維持、確保のためには、多くの方々にバスを積極的に利用していただくことが不可欠であることから、バス事業者とのワーキンググループで利用促進についても検討を進めてまいります。

また、地域の持続性向上にとって重要なバスの課題を市民の皆様と共有するとともに、地域が中心となって進めている先進的な取組を他の地域にも紹介するなどしながら、バスの利用促進に努めてまいります。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 次に、議案第103号・令和7年度千葉市一般会計補正予算（第2号）と議案第108号・令和7年度千葉市下水道事業会計補正予算（第1号）は、美浜区における第2期下水管路施設包括的維持管理業務について、契約手続を今年度中に行うため、債務負担行為の設定を行うものです。

第1期の委託の期間を半年残していますが、これまでの包括的維持管理業務の評価についてお聞かせください。

○議長（松坂吉則君） 建設局長。

○建設局長（山口浩正君） これまで個別に契約していた複数の業務をパッケージ化したことにより、スケールメリットが活かされ、令和5年度、6年度とも9%の経費縮減を達成しております。

また、市民の皆様からの御要望等にもワンストップで対応し、解決までの時間が短縮されたことなどにより、アンケートの回答をいただいた約9割の方から、満足しているとの高い評価を得られております。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 第1期からの変更点として、対象地域を美浜区の一部から美浜区全域に、また、管路内調査・点検は美浜区の一部から、市内全域に拡大するとしていますが、変更の理由についてお聞かせください。

○議長（松坂吉則君） 建設局長。

○建設局長（山口浩正君） 第1期において、一定の成果を確認できたことから、対象地域を美浜区全域に拡大するものです。

また、管路内調査・点検につきましては、スケールメリットによる新技術導入の促進や、さらなるコスト縮減が期待できることから、市内全域に拡大するものです。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 次に、下水道事業会計の財源の補正についてです。

八潮市での道路陥没事故を受けて、国からの要請に基づき実施する大規模下水道管路特別重点調査等事業について、国費の対象となったことから財源となる収入の補正を行うものです。

大規模管路の重点調査の実績について、また、調査対象のうち、国費の対象となる管路はどのくらいあるのかお示しください。

○議長（松坂吉則君） 建設局長。

○建設局長（山口浩正君） 国からの要請に基づき、全国で一斉に実施する重点調査につきましては、初めてのことになります。

また、調査の対象となる大規模管路は、約40キロメートルで、全ての管路が国費の対象となっております。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 調査はいつ、どのように行われているのか伺います。また、調査の進捗についてもお示しください。

○議長（松坂吉則君） 建設局長。

○建設局長（山口浩正君） 調査につきましては、本年6月から開始しており、テレビカメラや目視などにより対象管路の全延長を確認しているところです。

また、進捗につきましては、先月末現在、約40%を完了しており、来年2月を期限に調査を進めてまいります。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 次に、議案第110号・千葉市職員の特殊勤務手当支給条例の一部改正についてです。

千葉県が防疫作業に係る特殊勤務手当の支給額を引き上げたことにより、今後千葉県と合同で本市職員も防疫作業に従事することが見込まれることから、県職員との処遇の均衡を考慮し

**暫定版** ※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和7年第3回定例会会議録第2号（9月9日）

て、新たに特殊勤務手当を支給できるよう、条例の一部を改正するものです。

現在、特殊勤務手当は何種類あって、金額は最低いくらから最高いくらまであるのか伺います。

○議長（松坂吉則君） 総務局長。

○総務局長（久我千晶君） この条例により支給されます特殊勤務手当は、現在、29区分、48業務に対する手当がございまして、手当額は110円から8,000円までとなります。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 支給額は県と同様の日額1,650円となっています。鳥インフルエンザが発生した銚子市や山武市、芝山町でも条例を改正したことですが、金額について伺います。

○議長（松坂吉則君） 総務局長。

○総務局長（久我千晶君） 銚子市、山武市、芝山町の手当額は、千葉県と同額の1,650円と確認しております。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 防疫作業に当たる場合、防疫服、N95マスク、手袋、キャップ、長靴などを着用するようですが、冬でも汗をかくと言われており、酷暑の中での作業は大変過酷なものになると予想されます。危険を伴う重労働であり、日額1,650円は安いのではないかと思います。支給額を引き上げるべきではありませんか。

○議長（松坂吉則君） 総務局長。

○総務局長（久我千晶君） 本市の職員が、家畜伝染病の蔓延防止のための防疫作業に従事する際は、防疫作業の実施主体であります県からの要請に基づいて作業を実施することが見込まれます。

この場合、本市職員は県職員と同一の作業に従事することとなるため、県職員との処遇に不均衡が生じないよう、防疫作業手当の支給対象や金額は、県と同一となるよう設定したところです。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 次に、議案第118号・千葉市立小学校設置条例の一部改正についてです。

児童数増加が続く幕張新都心若葉住宅地区に新たに幕張若葉小学校を令和8年4月1日に設置すること及び更科小学校富田分校を今年度いっぱい廃止することに伴い、条例の一部を改正しようとするものです。

若葉住宅地区では今現在、何人の児童がどこの小学校に通っているのか、また、今後の児童数増加や教室が足りなくなる状況見込みについてお示しください。

○議長（松坂吉則君） 教育次長。

○教育次長（中島千恵君） 今年度現在、若葉住宅地区を含む美浜区若葉3丁目の通学区域は打瀬小学校であり、約610人の児童が通っております。

今後も若葉住宅地区の開発に伴い児童数の増加は続き、最大で58学級、約1,900人程度となることが見込まれております。

打瀬小学校単独では受け入れることが困難であり、良好な教育環境を確保するため、来年4月に幕張若葉小学校を設置するものです。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 幕張若葉小学校の開校時の想定規模と児童数が最大になったときの学級規模についてお示しください。

○議長（松坂吉則君） 教育次長。

○教育次長（中島千恵君） 来年度開校時の想定規模は、13学級、361人を見込んでおります。その後、学級数・児童数は急増し、令和15年度に最大35学級、1,132人となることを見込んでおります。

しかしながら、幕張若葉小学校の通学区域となる、若葉3丁目の4つの街区のうち、2つの街区の集合住宅は建設中であり、竣工後の入居状況や入居者の年齢構成等によって、児童数は変動する可能性があります。

今後の児童数の変動に対応するため、毎年度、児童生徒数推計を精査してまいります。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 転校の対象となっている児童本人や保護者への説明は十分されたのか伺います。

また、友達関係を継続したい、環境を変えたくないなどの理由で転校を希望しない児童がいる場合の対応についてお聞かせください。

○議長（松坂吉則君） 教育次長。

○教育次長（中島千恵君） これまでに昨年2月及び本年6月に地区住民説明会を開き、合わせて400人近い方々に参加いただきました。

また、10月には、幕張若葉小学校の通学区域の保護者を対象とする説明会を打瀬小学校で開催する予定であり、入居予定者の方々も含め御案内をしております。今後も丁寧な情報提供及び説明に努めてまいります。

なお、原則、新たに指定された学区の児童につきましては、幕張若葉小学校に通学することとなりますが、来年度の新6年生につきましては、最終学年であることを考慮し、希望があれば打瀬小学校への通学を認めることとしています。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 更科小学校富田分校の通学区域で更科小学校に通学している児童は何人いて、通学距離はどのくらいなのかお示しください。

○議長（松坂吉則君） 教育次長。

○教育次長（中島千恵君） 当該児童は20人おり、通学距離はおおむね2キロから4キロメートルです。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 小学生が2キロメートルの距離を歩くと30分から40分はかかり、雨の日はさらに時間がかかるたり、今の時期は熱中症の危険もあつたりすると思いますが、通学状況はどのようになっているのか伺います。

○議長（松坂吉則君） 教育次長。

○教育次長（中島千恵君） 保護者が車で送迎していると聞いております。なお、5、6年生につきましては、自転車による通学が認められています。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 車での送迎は保護者の負担が大きいため、スクールバスの導入をして

**暫定版** ※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和7年第3回定例会会議録第2号（9月9日）

いく必要があるのではないかでしょうか。スクールバスの運行ができるよう小学生では通学距離が4キロメートル以上というスクールバスの補助基準の見直しを国に要望すべきではありませんか。

○議長（松坂吉則君） 教育次長。

○教育次長（中島千恵君） 本市のスクールバスの導入につきましては、国の補助基準を参考にしており、現在、国に対して補助要件の緩和を要望しております。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 平成30年度から令和7年度まで8年間富田分校は休校となっていますが、その間誰も希望者がいなかったのか、また、今後就学する児童で分校を希望する者はいなないのか伺います。

○議長（松坂吉則君） 教育次長。

○教育次長（中島千恵君） 富田分校学区内の未就学児がいる御家庭に対し、富田分校への入学意向を調査したところ、入学を希望する御家庭はございませんでした。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 更科小学校富田分校廃止後の施設や跡地の活用についてお聞かせください。

○議長（松坂吉則君） 教育次長。

○教育次長（中島千恵君） 現時点では未定であり、活用の有無も含めて今後検討してまいります。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 次に、議案第121号・千葉市下水道条例の一部改正についてです。

令和8年度から9年度までの2年間において資金不足が生じることから、下水道使用料を平均改定率13.60%で改定するものです。

物価高騰が続く中、毎日の生活に水はなくてはならないものであり、節約すると言っても限界があるため、我が会派は値上げは中止すべきと考えていますが、平均的な家庭で1か月いくら値上がりすることになりますか。

○議長（松坂吉則君） 建設局長。

○建設局長（山口浩正君） 1か月当たり20立方メートルを使用する一般的な家庭では、289円の値上げとなります。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 使用料を抑制するための取組について及びそれによってどのくらいコストが縮減できるのか伺います。

○議長（松坂吉則君） 建設局長。

○建設局長（山口浩正君） 下水汚泥固形燃料化施設の導入による汚泥処分費の削減や、管路に係る包括的民間委託の対象範囲の拡大による維持管理コストの縮減により、資金不足額を来年度から令和9年度の2年間で約1億円縮減することが可能となります。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 次に、議案第124号・工事請負契約について、（主）生実本納線赤井町地区函渠整備工事（7-2）についてです。この工事の契約金額が16億5,713万200円となるため議決を求めるものです。

生実本納線赤井町地区鎌取インターの改良については、これまでも会派として繰り返し取り上げてきたところですが、本道路整備における渋滞解消効果について伺います。また、大網街道下を通過する本線整備に向けた函渠整備概要や迂回道路の対応、供用開始予定時期について伺います。

○議長（松坂吉則君） 建設局長。

○建設局長（山口浩正君） 本線が開通することで、周辺の交通が転換され、赤井交差点や鎌取インター交差点などの混雑緩和が期待されます。

本工事は、本線と大網街道を立体交差させるため、鎌取インター交差点部を開削し、ボックスカルバートを整備するものです。

この整備により、大網街道の交通を確保するため、仮設道路による迂回が必要となることから、道路を利用する皆様に対しまして、期間や内容を丁寧に周知してまいります。

供用開始時期につきましては、来年度末を目指しているところです。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 生実本納線の本線における樹木の伐採や整地工事において近隣住民から騒音振動の相談が複数寄せられました。今後の函渠整備工事においては周辺住民へ配慮した工事をすべきと考えますが見解を伺います。

○議長（松坂吉則君） 建設局長。

○建設局長（山口浩正君） 現場での作業時間を減らすため、工場製品のボックスカルバートを使用するほか、現場での作業に当たりましては、受注者と生活環境への配慮について十分に協議し、できる限り騒音、振動の抑制に努めてまいります。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 入札調書によると、5つの事業者が15億648万2,000円という全く同じ金額で入札し、同価格のためくじ引きで落札者が決定しています。このような事例はほかにもあるのか。また、入札価格が同じになる背景についてもお示しください。

○議長（松坂吉則君） 財政局長。

○財政局長（勝瀬光一郎君） 入札価格が同価格でくじ引きとなった件数は、令和5年度で156件、6年度で152件、本年度は6月末時点で12件となっております。

入札価格が同じになる背景といたしましては、建設工事においては設計単価や歩掛を含む積算基準や、最低制限価格の算出方法を公開していることなどから、積算能力の高い事業者であれば設計金額や最低制限価格を算出することは特別に難しいものではないことが考えられます。

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員。

○20番（安喰初美君） 詳細については明日から行われる常任委員会で審議していきたいと思います。

以上で、議案質疑を終わります。（拍手）

○議長（松坂吉則君） 安喰初美議員の質疑を終わります。

質疑を続けます。7番・黒澤和泉議員。

〔7番・黒澤和泉君 登壇、拍手〕

○7番（黒澤和泉君） 皆さんこんにちは、無所属の黒澤和泉です。

まず、議案第103号・令和7年度千葉市一般会計補正予算（第2号）、千葉マリンスタジアム基本計画策定について質疑を行います。

**暫定版** ※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和7年第3回定例会会議録第2号（9月9日）

初めに、議案説明書では、屋外型スタジアムを前提とした基本計画策定とあります、報道によると市長は、ドーム化の可能性を排除しないと述べたとされています。

そうであれば、屋外型に限定せず、ドーム型の場合の計画も併せて策定すべきではないか、市の見解を伺います。

2回目以降は質問席にて質問させていただきます。御答弁よろしくお願ひいたします。（拍手）

○議長（松坂吉則君） 答弁願います。総合政策局長。

○総合政策局長（藤代真史君） スタジアム整備で市税を当てられる範囲は、公共施設として市民利用が可能な部分に限られ、それを超える部分につきましては民間投資により整備することになります。

この考え方のもとに、基本構想では、スタジアム経営の持続性の観点などから、屋外型スタジアムの方が優位性を有するものと位置づけており、これを前提といたしまして、基本計画の検討を進めることを考えております。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 近年の猛暑の深刻化を踏まえ、屋外型スタジアムで選手や観客、市民が安全に利用できるようにするために、どのような猛暑対策を想定しているのでしょうか。

特に、熱中症対策や長時間滞在時の安全確保のために、どのような設備や運用を計画しているのか、具体的に伺います。

○議長（松坂吉則君） 総合政策局長。

○総合政策局長（藤代真史君） 近年の気候変動を念頭におきまして、観客席上部への屋根設置やミストシャワーの導入などの対策を検討することとしており、これらの具体的な内容につきましては、今後、千葉ロッテマリーンズや事業協力者などとともに基本計画の中で検討してまいりたいと考えております。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 屋外型で天候リスクを抱えたまま、計画にある365日稼働というコンセプトをスタジアム本体としてどのように実現するのでしょうか。

経済波及効果の算出に当たっては、年間利用日数を想定しているかと思います。猛暑・雨天・台風などの悪天候時に、イベントや試合をどの程度開催できると想定しているのか、経済波及効果の算定における年間の想定利用日数を、スタジアム本体と拡張機能に分けて具体的にお示しください。

○議長（松坂吉則君） 総合政策局長。

○総合政策局長（藤代真史君） 新たなスタジアムは、市民利用が可能な公共施設としてのベース機能に加えまして、収益施設や誰もが楽しめる拡張機能を一体化した施設として整備することを考えております。

経済波及効果の算定に当たりましては、現スタジアムでの利用実績を踏まえまして、ベース機能におきまして、一般利用、プロ野球興行、プロ野球興行以外のイベント興行で、年間約190日の使用日数を想定いたしておりますが、例えば、近年整備されましたスタジアムの事例なども参考にいたしまして、プロ野球興行開催日以外でのコンコースやグラウンドの開放など、様々な用途に対応できる施設の設計と運営体制の工夫などにより、年間を通じてより活用できる場とすることを目指してまいります。

そしてベースの機能に加えまして、商業・エンターテインメント施設や滞在施設などからなる拡張機能を、空間的にも機能的にもシームレスにつなげまして、日常的に人が集まり、にぎわいが生まれる空間を創出、運用することで、365日楽しめるスタジアムの実現を図ってまいります。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 基本構想で示された経済波及効果1兆2,400億円の算定根拠となる想定来場者数、1人当たり消費額など具体的な前提条件を数値で示した上で、スタジアム本体と拡張機能それぞれで経済波及効果をどのように試算しているのか、市の見解を伺います。

○議長（松坂吉則君） 総合政策局長。

○総合政策局長（藤代真史君） 基本構想では、想定されますベース機能部分の施設整備費及び管理運営費、来場者支出をもとに、経済波及効果を試算しております。

試算にあたりましては、基本構想策定のための調査委託におきましてコンサルタントが算出した数値等をもとに、いずれも税抜きで、施設整備費を590億円（後に「591億円」と訂正）、年間の管理運営費を29億円、来場者支出につきましては、一般利用、プロ野球興行、プロ野球興行以外のイベント興行の延べ来場者数を年間約299万円、1人当たりの消費額はそれぞれ、約5,000円、約9,000円、約1万5,000円と仮定し、年間の来場者支出を297億円と見込んでおります。

これらを前提としたとして、30年間の経済波及効果を試算いたしております。

なお、拡張機能部分に関しましては、今後公募いたします事業協力者の提案によって整備内容が決まりますことから、現時点での経済波及効果の試算には含めてはおりません。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 今回の再整備後のスタジアムについて、市として市民球場という位置づけを維持する考えなのか、それとも変更するのか、その方針を伺います。

仮に市民球場としての位置づけを維持するのであれば、市民球場に対して650億円以上の巨額投資を行う目的を、市はどのように説明するのか、併せて伺います。

○議長（松坂吉則君） 総合政策局長。

○総合政策局長（藤代真史君） 新たなスタジアムは、市民球場であります現スタジアムと同様に、アマチュア野球等の市民利用が可能な公共施設としての機能と、プロ野球等の興行を中心に、コンサートなど多様なイベントの開催が可能とする収益施設としての機能を併せ持つ施設とすることを目指しております。

基本構想で示しました、ベース機能部分の整備費約600億円の費用負担につきましては、本市とともに、千葉ロッテマリーンズや事業協力者などの民間事業者等が拠出することを想定しており、具体的な費用負担の在り方につきましては、今後、基本計画を策定を進める中で、関係者と協議、検討を進めてまいりたいと考えております。

なお、先ほどの御答弁の中で施設整備費591億円のところを590億円と答弁してしまいました。大変失礼いたしました。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 再整備案では、災害時には防災拠点として活用するとしていますが、屋外型スタジアムは猛暑や豪雨、寒波など過酷な気象条件下での長時間滞在には適さないと考えます。

**暫定版** ※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和7年第3回定例会会議録第2号（9月9日）

具体的に、災害時にどのような環境で避難者を受け入れる想定なのか、市の計画をお示しください。

○議長（松坂吉則君） 総合政策局長。

○総合政策局長（藤代真史君） 新たなスタジアムには、災害時に、周辺滞留者等の一時的な受入れや物資の集積が可能な防災機能を備えること、併せて、災害時にも使用可能なトイレ・シャワー等の機能及び食事を提供する焚き出し機能などの導入を検討することとしております。

周辺滞留者等の受入れは、スタジアム内に整備されますオープンコンコースや観覧席下の空間を活用することを想定しており、具体的には、今後、基本計画の中で関係者と協議しながら検討してまいりたいと考えております。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 次に、議案第119号・千葉マリンスタジアム設置管理条例の一部改正について伺います。

昨年、令和6年度の利用日数について、アマチュアの利用、プロスポーツ利用、プロスポーツ以外のイベント利用日数及びそれぞれ入場者を伴うスタンド利用日数を教えてください。

○議長（松坂吉則君） 都市局長。

○都市局長（鹿子木靖君） 昨年度のグラウンドの利用日数については、アマチュアの利用が48日、プロスポーツ関係の利用が185日、プロスポーツ以外のイベントのための利用が45日となっております。

また、それぞれ入場者を伴うスタンドの利用日数については、アマチュアの利用が32日、プロスポーツ関係の利用が79日、プロスポーツ以外のイベント利用が12日となっております。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 利用料金に関して、イベントの規模や収益性に応じた段階的な料金設定やダイナミックプライシングなどの柔軟な料金体制を検討したことはありますか。

○議長（松坂吉則君） 都市局長。

○都市局長（鹿子木靖君） 千葉マリンスタジアムを含め、公共施設の使用料等は、千葉市公共施設使用料等設定基準に基づき、管理コストを基に、施設の公的必要性と収益可能性に応じた受益者負担率等を加味して設定することを基本的な考え方としております。

指定管理施設である千葉マリンスタジアムは、利用料金の上限額を条例で定めておりますが、指定管理者に一定の主体性を認め、市の承認を受けることを条件に、上限額を超えない範囲で柔軟に料金設定することも可能しております。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 日本でプロ野球が行われるホームスタジアムの中で、マリンスタジアムのような公設のスタジアムはいくつありますか。

○議長（松坂吉則君） 都市局長。

○都市局長（鹿子木靖君） 横浜スタジアム、県営宮城球場、広島市民球場の3か所です。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 次に、議案第103号・令和7年度千葉市一般会計補正予算（第2号）、北谷津温水プール再整備について伺います。

令和7年度当初予算では520万円が計上されていましたが、今回の補正予算では2,100万円を追加し、さらに令和8年度には1,600万円を計上しています。その結果、令和7年度、8年度

で計4,220万円となり、当初想定から約3,700万円の増額です。そこで伺います。

当初予算520万円で想定していた業務内容と、今回の補正で追加された業務範囲はどのように異なるのでしょうか。

○議長（松坂吉則君） 市民局長。

○市民局長（那須一恵君） 当初予算520万円は、予算編成時に事業方式が決定していなかつたため、設計、施行を市が行うことと想定し、基本設計前に必要となる地質調査の費用を計上したものです。

昨年度に行ったPFI導入可能性調査に基づき、事業方式をDBO方式に決定したことにより、予定していた市が行う地質調査がなくなり、アドバイザリー業務を実施するものでございます。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 今回の増額分の根拠となる見積り内訳や単価設定はどのように算定したのでしょうか。

○議長（松坂吉則君） 市民局長。

○市民局長（那須一恵君） 過去の事例や事業者へのヒアリングなどにより、業務の内容を整理した上で、参考見積りを収集し、算定の参考としたものでございます。

単価につきましては、千葉市労務単価を採用しております。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） アドバイザリー業務委託の委託先はどのように選定する予定なのでしょうか。

○議長（松坂吉則君） 市民局長。

○市民局長（那須一恵君） 事業者の選定に当たりましては、公募型プロポーザルを想定しております。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 今まで市がDBO方式で指定管理者に委託して行った事業はありますか。

○議長（松坂吉則君） 市民局長。

○市民局長（那須一恵君） 指定管理として行うDBO事業につきましては、本市では、初めてとなります。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 再整備後の利用料金はどのように設定されるのでしょうか。

○議長（松坂吉則君） 市民局長。

○市民局長（那須一恵君） 再整備後の利用料金は、既存のスポーツ施設と同様の基準で上限額を規定し、指定管理者がその範囲内で料金を設定することを想定しております。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 次に、議案第103号、議案第105号、議案第107号、議案第109号に関連する、市有施設電力調達について伺います。

清掃工場の余剰電力を市有施設に送る自己託送は、CO<sub>2</sub>削減にもつながる大変意義のある取組だと考えます。

一方で、市有施設全体の電力を再エネ100%にするためには、自己託送で賄えない分につい

**暫定版** ※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和7年第3回定例会会議録第2号（9月9日）

---

では小売電気事業者から再エネ電力を調達すると伺っています。

ただ、再エネ電力という言葉は、市民の皆さんにとっては少し分かりにくい部分もあると思います。

どのような仕組みで再エネ由来であることを担保し、市として市民にどのように説明されるお考えか、分かりやすく御説明ください。

○議長（松坂吉則君） 環境局長。

○環境局長（秋幡浩明君） 本市では、化石燃料を使用せずに太陽光や水力などで発電したことを証明する非化石証書付きの電力を、再エネ電力として購入することを考えております。

なお、市民の皆様に対しては、令和8年度の市有施設における電力消費に伴うCO<sub>2</sub>排出実質ゼロの実現に合わせ、市政だよりや市ホームページ等で周知してまいります。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 再エネ電力を調達するにあたり、本当に再生可能エネルギー由來の電力として扱えるのかを証明することは、市民への説明責任としても重要だと考えます。

非化石証書やトラッキングFITを活用する場合には、どのような方法で環境価値を担保し、市としてどの程度まで確認を行うのか、具体的にお聞かせください。

○議長（松坂吉則君） 環境局長。

○環境局長（秋幡浩明君） 非化石証書付きの電力が供給できることを事業者の選定条件とするとともに、供給後も適宜、事業者に確認してまいります。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 今回の計画では、再エネ電力の調達にあたり、小売電気事業者をWTOによる一般競争入札で選定すると伺っています。

事業者の選定に当たっては、価格だけではなく、安定した供給が可能かどうか、さらにはサービス水準も重要な要素と考えます。

例えば、再エネ電力の供給実績が十分にあるか、停電などトラブル時のバックアップ体制が整っているか、また電圧制御機能や需給調整力など、系統を安定させるための技術力を備えているかなど、こうした点をどのように評価されるのか、市としてのお考えを伺います。

○議長（松坂吉則君） 環境局長。

○環境局長（秋幡浩明君） 再エネの電力調達に係る小売電気事業者については、これまでの本庁舎などの電力調達と同様に、WTOによる一般競争入札により選定することになりますが、入札条件に電力供給実績を付すなど、安定的な供給が可能な事業者を選定できるよう取り組んでまいります。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 電力自由化以降、小売電気事業者の撤退や倒産が全国的に相次いでいます。

今回の計画で選定する事業者が、万が一供給を継続できなくなった場合、市有施設への影響は大きいと考えますが、市として電力供給の安定性をどのように担保されるおつもりか、お聞かせください。

また、今後、全国的に再エネ比率が高まる中では送配電網への依存が増えることが予想されますが、市としてどのようにリスクを把握し、必要に応じてどのような対策を検討されているのかについても併せて伺います。

○議長（松坂吉則君） 環境局長。

○環境局長（秋幡浩明君） 入札条件に再エネ電力の供給実績を付すなど、安定的な供給が可能な事業者を選定できるように取り組んでまいりますが、選定事業者による供給ができなくなった場合においても、一般送配電事業者による最終保障供給などがあるため、原則として、電力が使用できなくなることはありません。

なお、送配電網の管理については、一般送配電事業者が行うものとなります。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 自己託送を安定的に運用するためには、送配電網を管理する事業者との連携や設備保守が不可欠です。

市としては、どの事業者とどのような契約を結び、運用状況をどのように把握するのか、またトラブルが発生した際にはどのような体制で迅速に対応されるのか、お考えをお聞かせください。

○議長（松坂吉則君） 環境局長。

○環境局長（秋幡浩明君） 自己託送については、送配電網を管理している東京電力パワーグリッド株式会社との随意契約を予定しており、当該事業者が保守管理やトラブル対応を行うことになります。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 今回の計画では、自己託送で賄えない分については小売電気事業者を通じて、実質再エネを調達し、電力自体はこれまでと同じ送配電網を利用することになると理解しています。このため、現時点で千葉市単体の計画が系統不安定化を引き起こすリスクは低いと考えています。ただし、全国的に再エネ比率が高まるにつれて、発電側での電圧制御や系統安定化の重要性が増していくことは間違いかりません。

実際、今年4月にスペインとポルトガルで発生した大規模停電では、再エネ比率の高さに対して電圧制御能力が十分でなかったことが原因となり、わずか20秒で広域的な停電に至った事例があります。

こうした世界的な動向を踏まえた上で、事業者選定において発電・供給双方の系統安定化技術をどの程度評価項目に含めているのか、また送配電事業者が担う系統安定化の取組について、市としてどこまで把握されているのか、お考えをお聞かせください。

○議長（松坂吉則君） 環境局長。

○環境局長（秋幡浩明君） 自己託送を行うには、送配電網を使用することになるため、一般送配電事業者との随意契約を行うことになります。本市では、エリア・エネルギー・マネジメント・システムにより、30分単位の電力の受給計画を策定し、一般送配電事業者が当該計画などを考慮して送配電網の管理等を行っていくものとなります。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 令和8年度から本格的に運用が始まるにあたり、CO<sub>2</sub>排出実質ゼロの実現と電力供給の安定性の確保は、どちらも極めて重要な課題です。

市として、再エネ電力の調達や自己託送の運用において、どこまで責任を持ち、どのような体制で安定供給を確保していくのか、お考えをお聞かせください。

○議長（松坂吉則君） 環境局長。

○環境局長（秋幡浩明君） 入札条件に再エネ電力の供給実績を付すなど、安定的な供給が可

**暫定版** ※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和7年第3回定例会会議録第2号（9月9日）

可能な事業者を選定できるよう取り組むとともに、運用に当たっては事業者との十分な連携を図ってまいります。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 次に、議案第103号・令和7年度千葉市一般会計補正予算（第2号）、プラスチック分別収集・再資源化について伺います。

今回の補正予算では、家庭から排出されるプラスチック資源を分別収集し、再資源化を進めることです。

ペットボトルなど高品質なリサイクルが可能なものは既に個別に対応されていますが、今回新たに収集するプラスチック資源について、市民の方からは、集めたプラスチックは最終的にどうなるのかという声を多くいただきます。

この事業の意義を市民にしっかりとお伝えするためにも、再資源化後のプラスチックがどのような製品に生まれ変わるのが、市として把握されている範囲で御説明いただけますか。例えば、川崎市ではケミカルリサイクルを行う登録事業者が、資源化したプラスチックを原料に戻して国内外でどのように活用しているかを公開しています。

千葉市としても、市民への説明責任を果たすために、こうした再資源化後の製品用途や環境効果を分かりやすく示すお考えがあるか、併せてお伺いします。

○議長（松坂吉則君） 環境局長。

○環境局長（秋幡浩明君） 分別収集されたプラスチックの再商品化による効果を周知することは、プラスチックの分別に対する市民の意識醸成や行動変容につながることから、市政によりや市ホームページなどの広報媒体を通じて、再商品化により生まれ変わった製品やCO<sub>2</sub>削減量などを周知してまいります。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 次に、小型充電式電池等拠点回収・再資源化について伺います。

まず、使用済小型家電回収について伺います。

回収拠点29か所の具体的な場所について教えてください。

○議長（松坂吉則君） 環境局長。

○環境局長（秋幡浩明君） 現在、環境事業所や区役所、市民センターなどの市有施設28か所を回収拠点としておりますが、来年1月から新たに市民にとって利便性の高い商業施設1か所を加え、29か所で拠点回収を実施することを予定しております。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 回収品目を拡充されたとのことですが、どのようなものを対象にされているのでしょうか。

○議長（松坂吉則君） 環境局長。

○環境局長（秋幡浩明君） 現在、国のガイドラインで示されている特定対象品目であるスマートフォンやノートパソコン、デジタルカメラなどを対象としておりますが、今後はそれ以外のハンディファンやスマートウォッチ、電動工具なども回収品目に拡充する予定です。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 次に、小型充電式電池拠点回収について伺います。

回収拠点を4か所から12か所に拡充するということですが、使用済み小型家電を回収している回収拠点29か所全てに配置することはできないのでしょうか。

○議長（松坂吉則君） 環境局長。

○環境局長（秋幡浩明君） 使用済小型家電の回収拠点29か所のうち、比較的、回収量が多く見込める本庁舎や区役所及び商業施設を先行して実施し、絶縁処理がなされているかなどの排出状況を確認した上で、他の回収拠点への拡充を検討してまいります。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 最後に、この回収・再資源化事業の現在の周知方法についてお答えください。

○議長（松坂吉則君） 環境局長。

○環境局長（秋幡浩明君） 市民への周知については、市政だより、市ホームページ、市公式SNSのほか、環境イベントでのリーフレット配布などを行っています。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 次に、バス路線の維持確保施策検討について伺います。

今回の事業では、各路線やバス停ごとの運行便数や利用者数などを収集、整理することですが、具体的にこのデータはどのように収集、整理するのでしょうか。

○議長（松坂吉則君） 都市局長。

○都市局長（鹿子木靖君） バス事業者が運輸支局に毎年度報告している、路線ごとの運輸収入や運行便数、利用者数などのデータに加え、交通系ICカードの利用に基づく詳細な乗降データや定期券情報などの収集を考えております。

いずれのデータも事業者ごとにフォーマットや集計の仕方などが異なることから、データの精査や統一化を行ってデータベースとし、現状の分析や施策検討に生かしてまいります。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） このシミュレーションを通じて、どのような施策案の検討を狙っているのでしょうか。

○議長（松坂吉則君） 都市局長。

○都市局長（鹿子木靖君） バスの運行や利用状況に関するデータに加え、本市の将来人口の予測、生活関連施設の立地状況などのデータを踏まえ、効率的な経路や運行頻度などのシミュレーションを行い、持続的なバス路線ネットワークの形成に向け検討を進めることとしております。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 次に、外国語講師派遣に係る債務負担行為について伺います。

まず、今回新たに導入するJETプログラムについて伺います。JETプログラムとはどのような制度なのか、そして、これを導入することでどのようなメリットがあると考えているのでしょうか。

○議長（松坂吉則君） 教育次長。

○教育次長（中島千恵君） JETプログラムとは、語学指導等を行う外国青年招致事業の略称で、主に海外の青年を招致し、自治体、教育委員会及び全国の小中学校や高等学校で、国際交流の業務と外国語教育に携わることにより、地域レベルでの国際化を推進することを目的としています。

メリットにつきましては、人材に関しては、各国で選考試験を通過し、語学指導等を通じた国際交流に熱意を持った人物であること、活用経費に関しましては、国による財政措置が適用

**暫定版** ※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和7年第3回定例会会議録第2号（9月9日）

---

されることであると考えております。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） この外国語講師派遣は、本市の英語教育の充実を目的としているとのことですが、具体的にどのような教育効果を期待しているのでしょうか。

○議長（松坂吉則君） 教育次長。

○教育次長（中島千恵君） 来年度から予定しているJETプログラムの導入により、先ほども述べましたが人材を活用した質の維持向上を図るとともに、経費削減を通して長期的な外国語講師の拡充につなげることで、小学校、中学校9年間を見通した英語教育の充実を図っていきたいと考えております。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） これまで千葉市では、どのような形で外国語講師を確保してきたのか伺います。また、これまでの講師による指導内容や役割についても併せてお答えください。

○議長（松坂吉則君） 教育次長。

○教育次長（中島千恵君） 本市では、委託業者をプロポーザルにより審査決定し、外国語講師を確保しております。

現在、全ての小・中・高等学校に計72人の外国語講師を派遣しており、外国語の授業におきましては、言語活動における児童生徒に対する指導の補助などを行っています。授業外でも授業についての担当教員との打ち合わせや、教材作成の補助を行うほか、学校生活の様々な場面で児童生徒と関わり、外国の言語や文化についての理解を深めることに寄与しております。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 過去にALT不足が発生したことがあるのか、あるいは年度途中の欠員が埋まらなかつたなどの課題があったのか、もしそうであれば、その原因についても具体的にお答えください。

○議長（松坂吉則君） 教育次長。

○教育次長（中島千恵君） これまで契約更新の際に委託業者が必要人数を確保できず、年度当初に学校への派遣が遅れてしまう事態がありました。これは、当時のプロポーザル審査が2月実施であり、委託業者のALT確保が遅れてしまったことに原因があったと認識しております。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 最後に、本市として今後どのように英語教育を強化していくのか伺います。

○議長（松坂吉則君） 教育次長。

○教育次長（中島千恵君） 今年度設置しました英語力向上推進委員会におきまして、本市独自の、千葉市英語教育スタンダードを作成しております。これを基に、小学校、中学校の接続を意識した実践を通して、教職員の指導力の向上を図ること、児童生徒が言葉を学ぶ楽しさを実感し、英語を使った即興的な表現力を培っていくことを目指してまいります。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 次に、各種開発事業に伴う発掘調査について伺います。

今回の補正予算案では、各種開発事業に伴う発掘調査費について、当初予算額とほぼ同額に当たる5,200万円を追加計上しています。

この点について、以下の点を伺います。

補正額が当初予算とほぼ同額に設定されている理由をお聞かせください。

○議長（松坂吉則君） 教育次長。

○教育次長（中島千恵君） 中央区生実町で計画されている工場団地造成事業におきまして、埋蔵文化財発掘調査の対象面積が大幅に増加したこと、若葉区小倉町で本市が計画している加曾利貝塚新博物館整備事業におきまして、縦穴住居跡の件数の増加や発掘調査に当たっての掘削の深さが想定を大きく超えたことにより、調査業務量が増えたことが主な理由です。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 実施優先度と緊急性をどのように設定しているのか、また発掘調査を実施しない場合、工期に影響が出る可能性があるのかお聞かせください。

○議長（松坂吉則君） 教育次長。

○教育次長（中島千恵君） 原則として、事業者から発掘調査の依頼を受けた順に着手しており、防災上の観点から緊急に対応すべき案件が発生した場合は、調整の上、優先的に実施しております。

また、事業者は、発掘調査終了後、事業着手をするため、年度内に発掘調査を実施しない場合、工期に遅れが生じるものと考えております。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 次に、議案第120号・千葉市自転車等の放置防止に関する条例の一部改正について伺います。

条例で定める駐輪場の整理に要する費用の、駐輪場の整理とは、具体的にどのような業務を指しているのかお答えください。

○議長（松坂吉則君） 建設局長。

○建設局長（山口浩正君） 駐輪場の管理運営に関する業務全般が対象となっており、具体的には、駐輪場の受付業務や料金収納業務、自転車を整頓する現地管理業務などが挙げられます。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 改正理由として労務単価上昇を挙げていますが、公契約における人件費スライド条項が設けられていない中で、今回どの程度の上昇を見込んで算出しているのか、具体的な根拠を伺います。

○議長（松坂吉則君） 建設局長。

○建設局長（山口浩正君） 近年、労務単価の上昇や物価の高騰が続いている、今後も上昇が見込まれるため、駐輪場で自転車を整頓する作業員単価の過去5年間の推移を基に算出しております。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 説明では、利用者負担の軽減策として、利用手続のオンライン化などに取り組むとされていますが、これらの取組は現時点でどこまで着手されているのか、進捗状況を伺います。

○議長（松坂吉則君） 建設局長。

○建設局長（山口浩正君） 利用手続のオンライン化や、支払いの電子決済等について、現在、業界で意見交換するなど、その内容を精査しているところです。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

**暫定版** ※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和7年第3回定例会会議録第2号（9月9日）

○7番（黒澤和泉君） また、業務内容ごとに行っている委託を一括するとありますが、具体的にどの業務をどのように一括化するのか、またそれによりどの程度のコスト削減効果を見込んでいるのかお聞かせください。

○議長（松坂吉則君） 建設局長。

○建設局長（山口浩正君） これまで業務内容ごとに行っていた、駐輪場の受付業務や料金収納業務、自転車を整頓する現地管理業務などを一括して委託することや、機械化、電子化を図ることにより、試算となります、年間3,000万円程度の経費縮減を見込んでおります。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 最後に、議案第125号・千葉アイススケート場の指定管理者指定について伺います。

まず、今回の公募において応募事業者が1者のみにとどまった理由についてお答えください。

○議長（松坂吉則君） 市民局長。

○市民局長（那須一恵君） アイススケート場は、ほかの多くのスポーツ施設と異なり、スケートリンクの維持管理に高い専門性が求められることや、多額の設備投資を要することなどが、要因になっているものと推察されます。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 市がこれまでに支出した指定管理料の推移についてお答えください。

○議長（松坂吉則君） 市民局長。

○市民局長（那須一恵君） 千葉アイススケート場につきましては、事業者が利用料金で運営管理を行う独立採算制であるため、指定管理料の支出はございません。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） アイススケート場のみの過去3年間の収支状況についてお答えください。

○議長（松坂吉則君） 市民局長。

○市民局長（那須一恵君） 各年度の収支状況は、令和4年度が約2,500万円、5年度が約1,600万円、6年度が約1,100万円の黒字となっております。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 以上で私の議案質疑を終了します。ありがとうございました。（拍手）

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員の質疑を終わります。

以上で、質疑を終わります。

お諮りいたします。ただいま議題となっております議案第103号から第127号まで、及び発議7号を配付しております議案・発議付託一覧表記載の委員会に付託したいと存じますが、御異議ございませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（松坂吉則君） 御意義ないものと認め、さよう決定いたしました。

---

議案・発議付託一覧表を添付

○議長（松坂吉則君） 以上で、本日の日程は終了いたしました。

次会は、12日午後1時から会議を開きます。

本日は、これをもって散会といたします。御苦労様でした。

**午後2時21分散会**

---

**暫 定 版**

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和 7 年第 3 回定例会会議録第 2 号（9月 9 日）

---

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

千葉市議会議長

松坂吉則

千葉市議会議員

伊藤康平

千葉市議会議員

阿部智